

アーカイブ新聞 (2015年6月30日 第837号)

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 1884年製バンベルヒ 27 cm一等経緯儀を収蔵**

アーカイブ室新聞第87号(2008年10月29日)に「27 cm経緯儀発見」という記事を書き、第88号(2008年10月30日)に「27 cm経緯儀を天文台プレミアムに搬入、復元、展示」という記事を書いた。この27 cm一等経緯儀が写真1である。



写真1 国立天文台で発見された 27 cm一等経緯儀
写真2 がその刻印である。



写真2 27 cm一等経緯儀の刻印

2015年6月3日、一戸直蔵の資料を譲渡頂いた佐久間精一氏から手紙をもらった。知人が古い経緯儀を持っているが資料として価値があるものかという問い合わせであった。写真が添えられており(写真3)、これは国土地理院にある27cm一等経緯儀そっくりである。



写真3 送られてきた経緯儀の写真

写真4が国土地理院にある27cm一等経緯儀である。これはつくばの国土地理院に展示されている。望遠鏡の姿は違うが、目盛環のあたりはそっくりである。

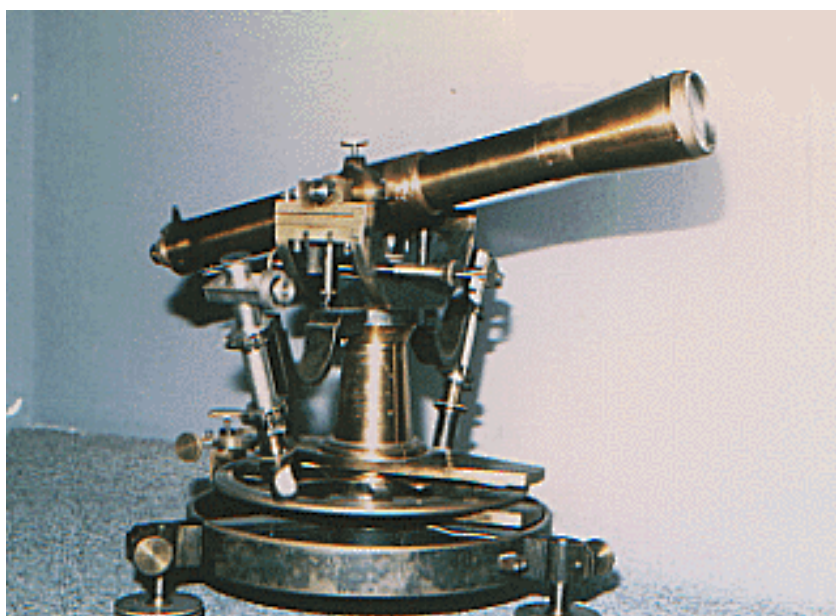


写真4 国土地理院にある27cm一等経緯儀

この経緯儀を持っておられたのは神奈川県在住の小木曾さんのいう方で、友人から譲り受けたが、一等三角点整備のころ活躍した貴重なものなら、個人で保管しているよりは、

しかるべきところで保存できればとお考えになり、佐久間精一氏に相談され、またアーカイブ新聞の読者であったことから、筆者に譲渡のお話が来たという次第であった。

そこで受け取りの相談を進め、6月29日、お宅に伺い、この27 cm一等経緯儀を国立天文台の天文機器資料館の展示品として譲り受けたのである。

写真5が、その姿、写真6が刻印である。



写真5 今回収蔵した27 cm一等経緯儀

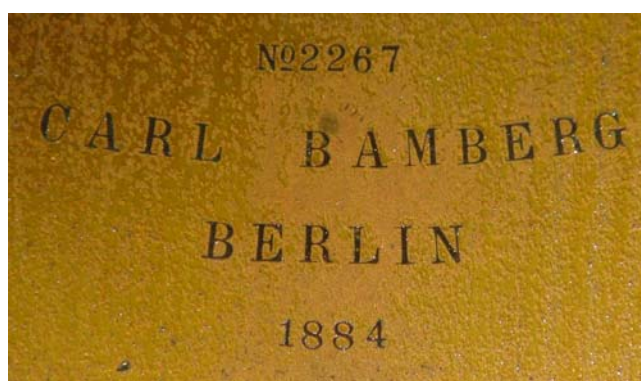


写真6 Bambergの刻印

小木曾氏によると、国立天文台にあった27 cm一等経緯儀は1921年以降に製作されたものだという。国立天文台の天文機器資料館に国立天文台にあったものと一緒に1884年製のものを並べて展示できるのはこの上ない喜びである(写真7)。



写真7 2つの27cm一等経緯儀が展示された

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp